

# 臨床心理士・公認心理師試験対策授業研修会に参加して

前学校法人茶屋四郎次郎記念学園理事長  
名誉博士 水野良治

1月30日に引き続き2月6日に実施された臨床心理士・公認心理師試験対策授業研修会にオンラインで参加する機会を得た。学部4年生を対象とした1月14日の精神保健福祉士国家試験対策授業、1月23日の論述問題対策授業もあわせ、短期間にキャリア教育の方法を集中して研修する機会を得ることができた。

本学のキャリア教育は他の大学とは異なり全員の合格を目指すことを一番のねらいとしている。このことについて中島総長のお話を聞く機会はこれまでもあったが、今回、研修会の冒頭と最後の締めくくりで、主としてフォーダム大学大学院での修士、博士号取得にまつわる厳しい体験を交え、明快で肝に銘ずべき内容の熱い指導があった。

国家試験、資格取得試験等で全員の合格を目指し、伝統のある大学や人気の高い有名大学を凌ぐ大勢の合格者を出すことが、他大学との差別化を図り、少子化による厳しい大学淘汰の時代に生き残るための最重要課題であるとの指摘はまさに至言であり、私自身もこれこそが本学の生命線であると考えている。

また、これまで日本では大学に合格することが目的で、どの大学に合格したかでその後の人生が決定すると多くの人が考えていた。しかし大学進学の本当の目的は、大学に入学した後、しっかり勉強し、生まれ変わって賢くなることであり、それによりその後の人生を変えることであるとの指摘もまさにそのとおりで、これまでを反省しつつ今後の実践を決意し、肝に銘じた次第である。

そして、自分がフォーダム大学で苦勞し生まれ変わり賢くなれたように、今、臨床心理士・公認心理師試験対策授業を受けている皆さんも、確認試験で満点を取っただけで満足するのではなく、帰りの電車の中でも、家へ帰って寝る前にも、明日もまた反復繰り返し、死に物狂いで勉強して試験に合格してほしい。皆さんを全力でバックアップするので、皆さんも本学で頑張り、生まれ変わって賢くなり、幸せな人生を手に入れてほしいという熱いメッセージは院生にしっかりと届き、必ず良い結果につながるものと確信している。

今回の対策授業では、前回の指導方法に加え、①問題と正答を暗記するだけでなく解説文についても文中の重要部分に下線を引かせ、暗記させるとともに論述との関連も図る指導が加わった点、②問題文の誤った個所をきちんと訂正させ正しい文に直してから暗記する（目で追うだけでなく手を動かす）よう指導が改善された点、③首や肩を回すなど体を動かす動作を取り入れ気分転換を図りつつ緊張と集中を維持するなどの工夫が加えられた点、④前回にはなかった15行前後のかなり長い事例を説明する文

章とそれに応じて問題文も長文化した事例問題が加わった点などが変わった点であり、事例問題についても基本的には同じ対応で対処すればよいとの指導があった。

最後の確認テストは、今回も全員が満点を取り、手応えと自信が得られたものと思う。全員合格を目指して最後まで頑張してほしいと心から願っている。